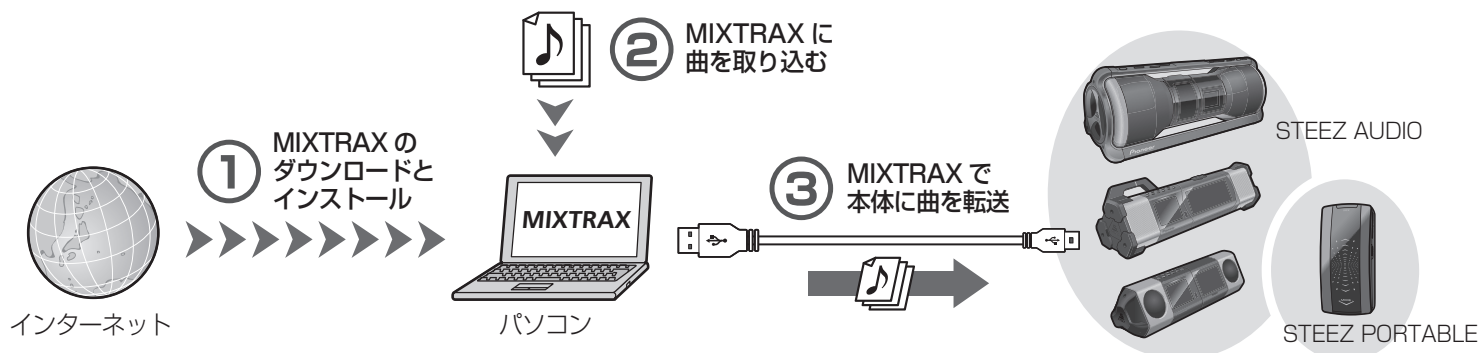


# STEEZ AUDIO や STEEZ PORTABLE にお気に入りの曲を転送する

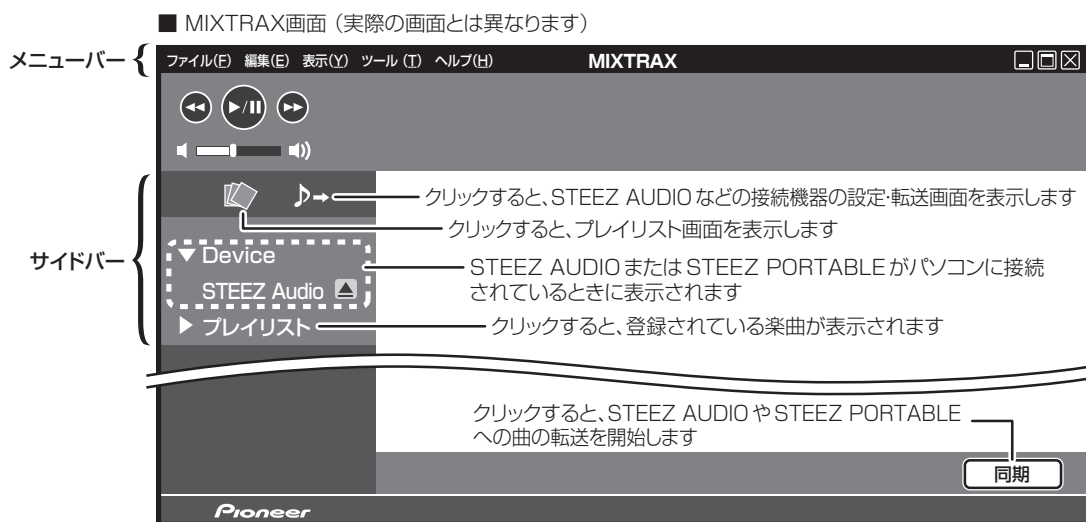
STEEZ AUDIO や STEEZ PORTABLE の本体でお気に入りの曲を再生するには、楽曲管理アプリケーション「MIXTRAX」(ミックストラックス) をパソコンにインストールして、MIXTRAX から本体に曲を転送します。

- MIXTRAX は、パイオニアの専用ホームページから無償でダウンロードできます。



## ① MIXTRAXをパソコンにインストールする

- 1 パソコンからMIXTRAXのサポートサイトにアクセスします。  
**<http://www.mixtraxnet.com>**  
をブラウザのアドレス欄に入力します。
  - 2 **[Download]**をクリックし、MIXTRAXのインストールプログラムをダウンロードします。
  - 3 ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、インストールを開始します。
- MIXTRAX では、CD の曲をリッピングしたり、ファイル形式を変換することはできません。iTunes や Windows Media Player などのアプリケーションを使用して、MP3 や WMA、WAV 形式に変換してから、MIXTRAX に曲を取り込んでください。



## ② MIXTRAXにお気に入りの曲を取り込む

### ▼パソコンに保存された曲を取り込む

- 1 MIXTRAXのメニューバーから **[ファイル] → [インポート] → [フォルダ]** をクリックします。
- 2 取り込みたい音楽ファイルのフォルダーを選択して、**[OK]** をクリックします。  
選択したフォルダーに保存されている音楽ファイルがすべて取り込まれ、曲の解析が行われます。

- 著作権が保護されている音楽ファイルは、取り込みおよび再生ができないことがあります。


### ▼iTunes から曲を取り込む

- MIXTRAXのメニューバーから **[ファイル] → [インポート] → [iTunesライブラリ]** をクリックします。  
iTunes から音楽ファイルとプレイリストがすべて取り込まれ、曲の解析が行われます。

MIXTRAXの詳細や本体への転送および再生については、裏面をご覧ください

## ③ MIXTRAXで本体に曲を転送する

### ▼ STEEZ AUDIO に転送する

- 1 STEEZ AUDIOにACアダプターを接続し、電源をオンにします。
- 2 STEEZ AUDIOをパソコンに接続します。  
接続には、STEEZ AUDIOに付属のUSBケーブルを使用します。
- 3 MIXTRAX画面のをクリックします。
- 4 **[Music]**タブをクリックします。
- 5 ライブラリの中からPlaylistやアーティストを選んで転送するときは、**[選択したプレイリスト、アーティスト]**をクリックします。  
ライブラリのすべての楽曲を転送するときは、**[ミュージックライブラリ全体]**をクリックします。
- 6 転送したいPlaylistとアーティストをクリックして、チェックを入れます。
- 7 **[同期]**をクリックしてから、**[OK]**をクリックします。  
曲が転送されます。
- 8 サイドバーの[STEEZ Audio]の横にある▲をクリックします。
- 9 サイドバーの[STEEZ Audio]が消えたら、パソコンからSTEEZ AUDIOを取り外します。  
STEEZ AUDIOのディスプレイに「Connect with PC」と表示されたままでも取り外しできます。

### STEEZ AUDIO で曲を再生する

- 1 **ON/STANDBY/ON**ボタンを押して電源をオンにします。
- 2 **FUNC**ボタンを繰り返し押して、**[Memory]**を選びます。
- 3 **▲▼/ENTER**ボタンで曲を選びます。
- 4 **▶/II、◀◀、▶▶▶**ボタンで曲を再生します。

### ★オススメ!★

#### ■ DJ ミックスモード

ダンスが途切れにくい曲順で、つないで再生します。

- 1 **MENU**ボタンを押して、Menu画面を表示します。
- 2 **▲▼**ボタンで**[DJ Mix]**を選んで、**ENTER**ボタンを押します。  
DJ ミックスモードのジャンル選択画面になります。
- 3 **◀▶**ボタンでジャンルを選んで、**[Start]**を押します。  
DJ ミックスモードでの再生が開始されます。  
・DJ ミックスモードを終了するには、**EXIT** ボタンを押します。  
・DJ ミックスモードのときは、他の再生機能は使用できません。

#### ■ テンポコントロール機能

曲の音の高さを変えずにテンポを変えることができます。

- ・曲の再生中に**TEMPO+/-**ボタンを押してテンポを調整します。

#### ■ エイトスキップ機能

曲の再生位置を1エイト（8拍）単位で移動することができます。

- ・曲の再生中に8 SKIP **◀◀/▶▶▶**ボタンを押して再生位置を移動させます。

#### ■ キュー機能

曲の任意の位置を記憶させて、あとから簡単にその位置から再生させることができます。

- ・曲の再生中に**CUE MEMO**ボタンを押します。  
現在の位置が記憶されます。  
・記憶させた位置に移動するには、**CUE CALL** ボタンを押します。

他にもバトルモードなどさまざまな再生機能があります。詳しくは、オンラインマニュアルをご覧ください。

### ▼ STEEZ PORTABLE に転送する

- 1 STEEZ PORTABLEをパソコンに接続します。  
接続には、STEEZ PORTABLE に付属のUSBケーブルを使用します。接続すると、STEEZ PORTABLE の電源が自動でオンになり、充電が始まります。
- 2 MIXTRAX画面のをクリックします。  
[プレイリスト転送]画面が表示されます。
- 3 **[プレイリスト一覧]**から転送したいPlaylistを選んで、転送リストのボックスにドラッグ&ドロップします。
- 4 **[同期]**をクリックしてから、**[OK]**をクリックします。  
曲が転送されます。
- 5 サイドバーの[STEEZ Portable]の横にある▲をクリックします。  
OSがWindows 7、Windows Vista の場合は、サイドバーの**[STEEZ Portable]**で右クリックメニューを表示し、**[取り出す]**をクリックしてください。
- 6 サイドバーの[STEEZ Portable]が消えたら、パソコンからSTEEZ PORTABLEを取り外します。

### STEEZ PORTABLE で曲を再生する

- ・**ON/OFF**ボタンを押して電源をオンにすると、ノンストップミックス再生が始まります。

本体中央のエリアを上下に指でスライドさせると、テンポやプレイリストをサーチします。

**[MIX]** ボタンで次の曲に進みます。

**[★ MARK]** ボタンを長く押すと、再生中の曲がお気に入りプレイリストに登録されます。

詳しい操作方法は、オンラインマニュアルをご覧ください。

### MIXTRAXのインストールについて

- ・MIXTRAXは以下のOSに対応しています。  
Windows XP 32bit 版 SP2/SP3  
Windows Vista 32bit 版 SP1/SP2  
Windows 7 32bit 版 SP1  
Windows 7 64bit 版 SP1  
※ Mac OS には対応していません。
- ・MIXTRAXの最低動作環境は以下の通りです。  
1 GHz 以上の Intel® または AMD プロセッサを搭載したコンピュータ  
1 GB 以上のメモリ  
1024 x 768 以上のディスプレイ解像度  
QuickTime 対応のオーディオカード  
200 MB 以上の空きディスク容量  
QuickTime がインストールされている必要があります。  
Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 がインストールされている必要があります。  
ブロードバンドインターネットへの接続環境（推奨）（利用料金が別途必要になる場合があります）  
Internet Explorer 6 以上
- ・MIXTRAXをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログインしてからインストールしてください。
- ・Windows Vista、Windows 7 では、「ユーザーアカウント制御」の警告が表示される場合があります。警告画面が表示されたら、画面表示に従って操作を進めてください。
- ・QuickTime と Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていない場合は、画面表示に従ってインストールしてください。
- ・Windows 7 の場合、[MIXTRAX x.x.x を実行] にチェックを入れてセットアップウィザードを閉じると、管理者権限で MIXTRAX が起動します。管理者権限で MIXTRAX を実行中はセキュリティ機能が働き、ドラッグ & ドロップの操作で楽曲を取り込むことができません。